

卒業論文

題目

VSP

指導教員

近藤 利夫 教授

2012年

三重大学 工学部 情報工学科
計算機アーキテクチャ研究室

中村 仁 (408830)

内容梗概

a

Abstract

a

目次

1	はじめに	1
1.1	研究背景	1
1.2	研究目的	1
1.3	研究概要	1
2	関連研究	1
2.1	DVFS	1
2.2	PSU	1
3	VSP	1
3.1	VSP プロセッサ	1
3.2	提案コントローラ	1
3.3	従来VSPの問題点	1
4	VSP の改良手法	2
4.1	パイプライン段数の7段化	2
4.2	閾値の可変性	2
5	評価	2
5.1	評価環境	2
5.2	評価結果	2
6	まとめ	2
	謝辞	3
	参考文献	3
A	プログラムリスト	4
B	評価用データ	4

图 目 次

表 目 次

1 はじめに

1.1 研究背景

1.2 研究目的

1.3 研究概要

2 関連研究

2.1 DVFS

2.2 PSU

3 VSP

3.1 VSP プロセッサ

VSP プロセッサや HS モード、LE モードそれぞれの違いについて記述

3.2 提案コントローラ

提案コントローラの手法について記述

3.3 従来 V S P の問題点

従来 VSP の問題点を記述し、VSP の改良手法につなげる

4 VSP の改良手法

4.1 パイプライン段数の7段化

パイプライン段数の7段化について、従来の9段と比較して説明やブロック図を記述

節として分けるかどうかは任せるけど、段数を変えたので、LEモード時の統合ステージを再検討する必要がある。その点についても議論する。

4.2 閾値の可変化

モード切り換えコントローラの閾値をプログラムで可変にしたことについて記述

5 評価

5.1 評価環境

5.2 評価結果

パイプライン段数9段と7段それぞれのVSPプロセッサのnanosimでの評価結果を記述

6 まとめ

まとめと今後の課題

謝辞

貴重なサンプルを未来から送ってくれた、子孫のセワシに感謝します。

参考文献

- [1] 横山光輝, 「鉄人 28 号」, 月刊少年, 1956
- [2] ジョン・フォン・ノイマン, 「量子力学の数学的基礎」, 1957
- [3] 藤子不二雄, 「キテレッツ大百科」, こどもの光, 1974
- [4] キテレッツ斉, 「奇天烈大百科」, 17XX
- [5] 藤子不二雄, 「パーマン」, 週間少年サンデー, 1967

A プログラムリスト

B 評価用データ